

ワイン用ぶどうの生育不良でお悩みの方へ —農家ができる土層改良法—

概要 Abstract

生育不良なぶどう畑の多くは土が硬く、土中のすき間が少なく、排水不良でした。そこで、**①硬い土を砕いて**、**②排水を良くする**総合的な改良方法を提案しました。

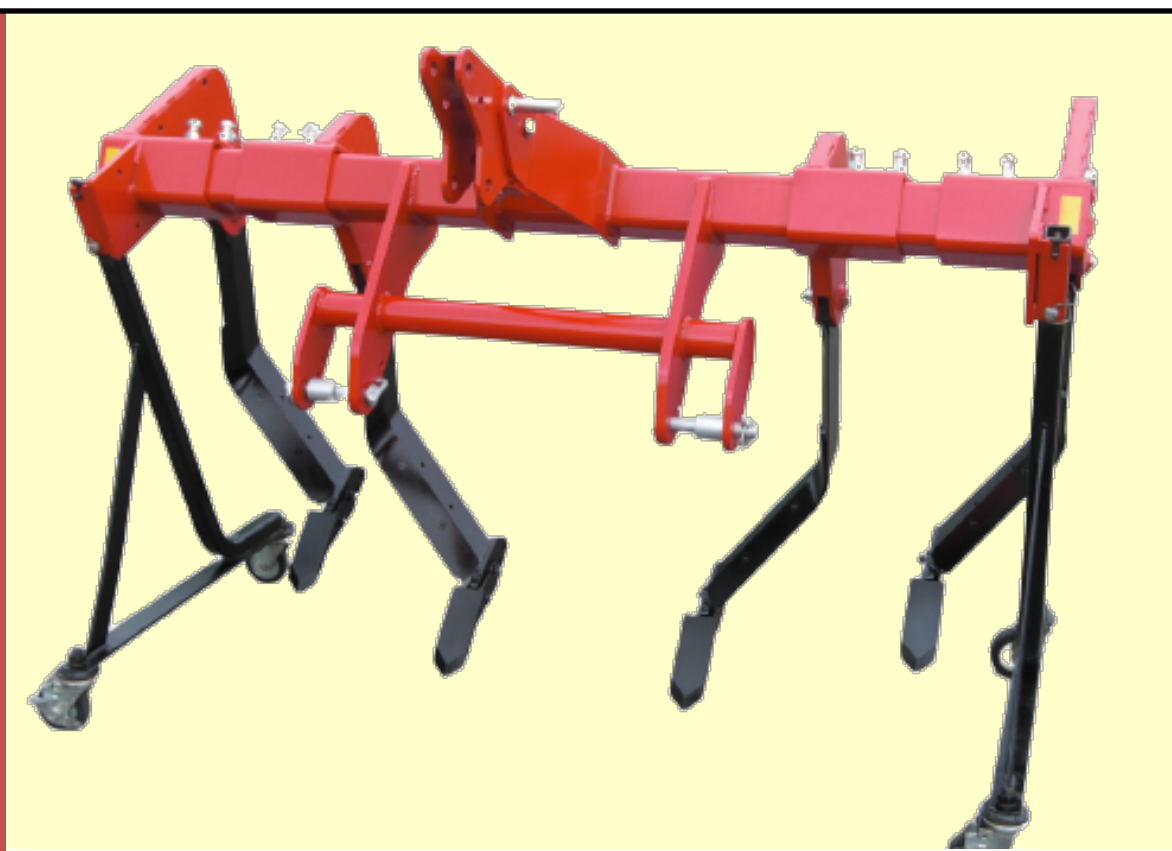
成果 Results

生育不良地点における土壌の特徴	全調査畑数に対する割合 (%)
土が硬い	89.5
土中にすき間が少ない	73.7
作土が浅い	68.4
土中の浅くに一時的に水が溜まる	63.2
土の透水不良	52.6

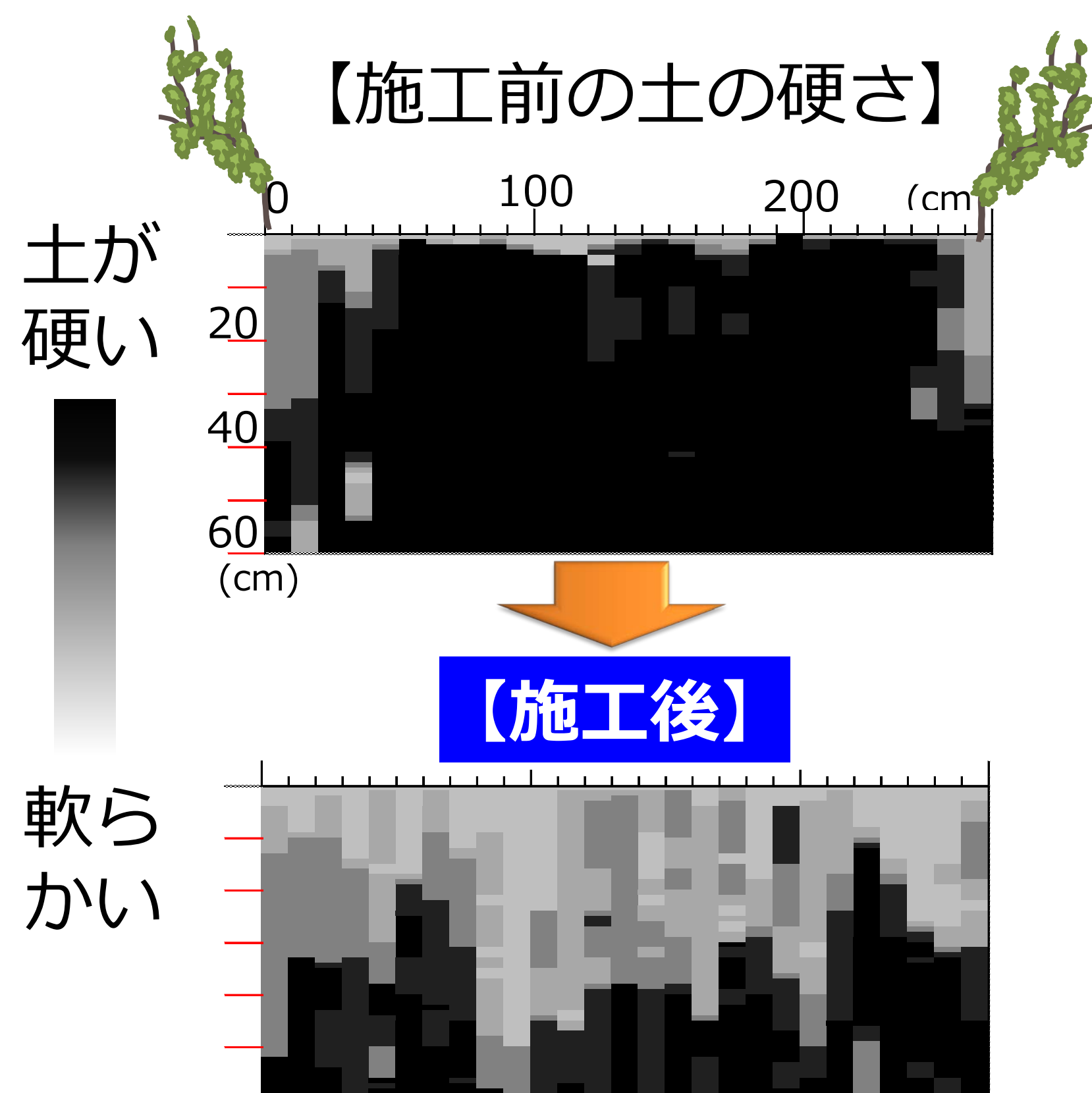
作土が浅く
土が硬くて
すき間が
少ない

排水不良

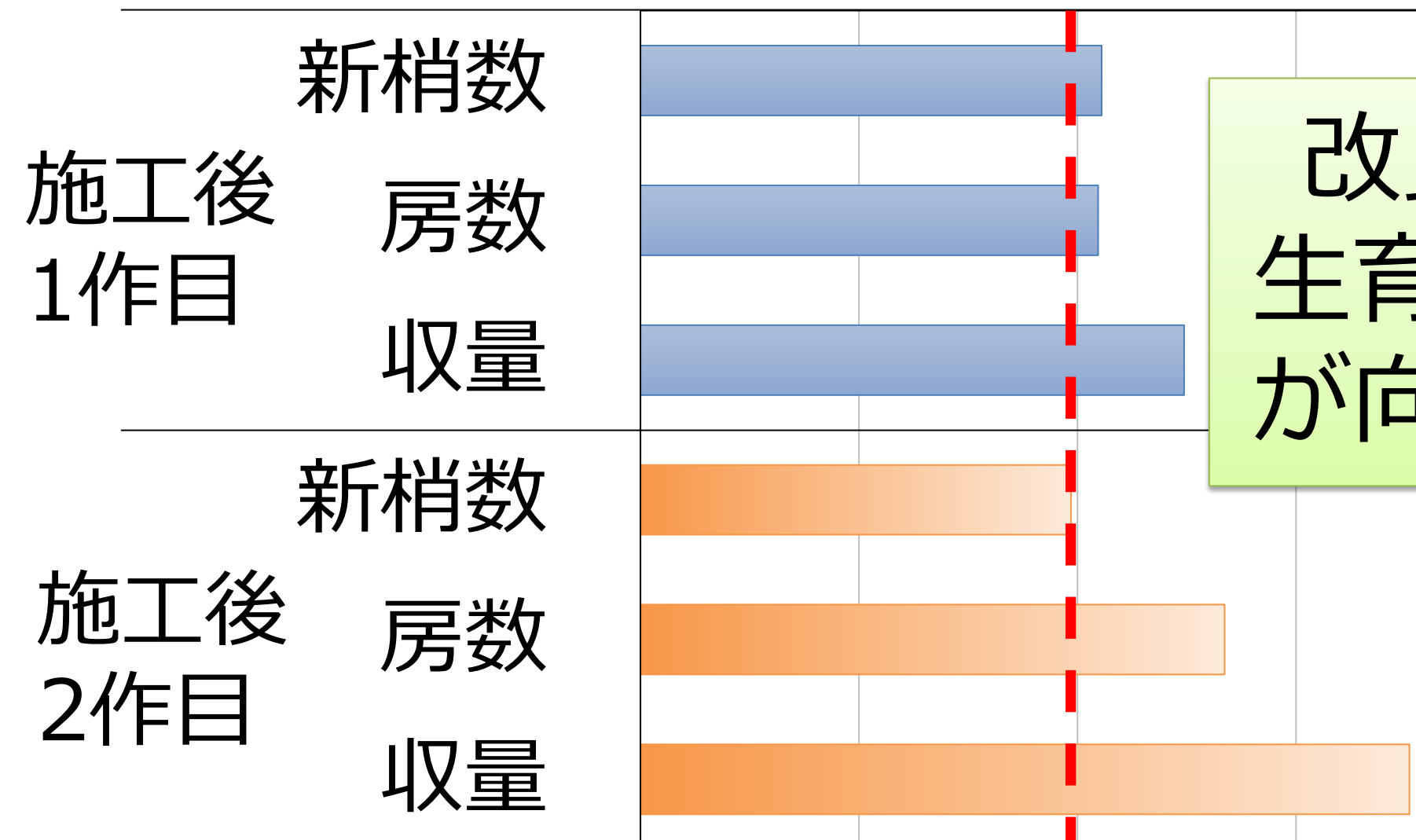
① 樹列間の硬い土を農機で砕く



【パラソイラー】



【施工しない場所の生育収量との比較】



改良で
生育収量
が向上！

0 50 100 150

100: 施工しない場所の値と同じ

② 樹列間の排水不良な場所に農機で排水改良



【カットドレーンmini】

！ 樹列の傾斜下部に疎水材を用いた暗渠を埋設

！ 畑の外に排水路がなければ造成

普及 Dissemination

- 土の改良は定植前が基本です。
- ぶどうの樹列間に硬い土を砕く農機を施工する場合は、断根の影響を考慮して、樹列の両側施工は避けてください。
- 根頭がんしゅ病発生圃場では発生状況に留意して施工を検討してください。

連絡先 Contact

中央農業試験場
農業環境部 環境保全グループ
0123-89-2001
central-agri@hro.or.jp